

ペテロの召命

ルカ5章1-11節
2011、3、13

I 概観

主題: イエス様は最初の弟子を召された

- 1、主の招き・教え・導き 1-4
- 2、ペテロの従順・祝福・認罪 5-10a
- 3、主の召命とペテロの献身 10b-11

II 主の招き・教え・導き: 1-4

- 1、主の招き: ペテロの船を借りて 1-3a
- 2、主の教え: 群衆に神の国の福音を 3b
- 3、主の招き: 神様を体験するために 4

III ペテロの従順・祝福・認罪

- 1、ペテロの限定的従順 5
- 2、常識を超えた祝福 6-7
- 3、畏れと認罪: 神を経験する 8-10 a
 - ①常識を超えた祝福(主客の逆転)
 - ②イエス様を通して神様に触れる
 - ③自分自身の罪に気がつく(裁かれるのは私)
 - ④生活の場で砕かれ、ひれ伏す
 - ⑤神様から遠く感じる時、神様に近い←ルカ15:21

IV 主の召命とペテロの献身

- 1、主の言
 - ①恐れるな(未経験の領域)←ヨシヤ1:5-9
 - 1) 仕事・財産・家族の守りを捨てることを
 - 2) 主客が逆転することを 3) 働きの困難さを
 - 4) 自分には何の資格・能力・立場もない、唯の罪びと
 - 5) 成功の保証がなく、人に迷惑をかけることを
⇒信仰の前進には不信頼からの恐れがつきもの
 - ②人を捕るものとなる: 1) 最も価値のあるものを 2) 神様のために 3) 神の国の前進のための働き手となる
- 2、3人の弟子から学ぶ
 - ①み言に従う(3つの招き) ②神を経験する ③献身

VI 適応

- 1、献身(主への従順)が自他の祝福の鍵
- 2、恐れを越え献身が深まるほど解放され、自由になり、神様と親しくなり、神と人に用いられる
- 3、その祝福は計り知れない: 2000年前のガリラヤの野卑な3人の漁師が土台の教会が世界に2000年間、最大の影響を与え続けるとは!
- 4、献身が深まるために、必要なことは、み言に基づいて継続的に神様を体験すること
- 5、私たちの献身が(コンフォート・ゾーンから)深まるように祈ろう!